

研究目的

目的 ①

次期学習指導要領を見据え、自立活動の目標設定に至る手続きを検討することを通して、個別の指導計画の目標の妥当性や精度を高めるための要点を明かにする。

目的 ②

授業開発部において、見直した手続きに沿って実践をすすめる、その成果と課題を明らかにすることで、本校の「カリキュラムマネジメント」を考える上での知見とする。

研究方法

対象

- 授業開発部員

小学部・中学部・高等部から、3名ずつ計9名
部員全員が担任(意図的に！)

研究の手続き

- ア 自立活動の目標設定に至るプロセスの検討
- イ 授業改善に向けた取組の実際(事例研究)

目標設定の検討事項

主な改善点

- ① 実態把握の方法や内容を見直す
 - ・ 学びの履歴の整理
 - ・ **自立活動**の6区分からの実態把握
 - ・ 個別のニーズの集約

- ② 生活に照らし、将来にめざす姿を想定

◎「課題」を考える視点

発達年齢

生活年齢

地域生活

- ③ 指導目標の設定の際、指導仮説を文章化。
ここに至る過程を可視化する。



専門性のある
教師との協働

現在と卒業後…

目標設定のプロセス

専門性のある
教師との協働

Step1 実態把握

- ・情報一覧の作成
- ・情報整理シート
- ・自立活動チェックリスト

抽出の観点

Step2 課題の抽出

- ・生活年齢や環境設定の軸との関連
- ・めざす姿の想定
- ・個別のニーズとのすり合わせ

・課題関連図の作成

Step3 自立活動の指導目標設定

・指導仮説

Step4 必要な項目の選定

Step5 具体的な指導内容の設定

実態把握 ～情報一覧～

<input checked="" type="checkbox"/> 項目	<input checked="" type="checkbox"/> 項目
<input type="checkbox"/> 学びの履歴	<input type="checkbox"/> 自立活動の区分からみた実態
<input type="checkbox"/> 諸検査の結果と解釈	<input type="checkbox"/> 本人の願い、保護者の願い
<input type="checkbox"/> 障害の状態	<input type="checkbox"/> 個別の教育支援計画の長期目標と設定の理由
<input type="checkbox"/> 発達や経験の程度	<input type="checkbox"/> 進路希望
<input type="checkbox"/> 興味・関心	<input type="checkbox"/> 保護者の理解
<input type="checkbox"/> 学習や生活の中で見られる長所や短所	<input type="checkbox"/> 地域生活、地域資源
<input type="checkbox"/> めばえや課題	

実態把握～情報整理シートの作成～

【自立活動目標設定の手続き -情報整理シート-】

平成 年 月

日

小学部	・	中学部	・	高等部	1・2・3・4・5・6年	氏名	
-----	---	-----	---	-----	--------------	----	--

1 「学びの履歴」

	個別の指導計画の長期目標	自立活動（時間における指導）
小1		
小2		
小3		
小4		
小5		
小6		
中1		
中2		
中3		
高1		
高2		
高3		

学びの履歴

同じ課題が繰り返し取上げられないように、
これまで身に付けてきた力や
課題を把握する